

平成30年度 学校教育の方針について

学校教育
目 標

『太陽の子』 本質を見極め
『北国の子』 強い意志をもつ
『日本の子』 高い価値をめざす

めざす子
どもの姿

常に希望に燃え、創造力豊かな子ども
困難に打ち勝ち、強い心と体をもつ子ども
日本人として誇りをもち、たゆまず学ぶ子ども

研究テーマ：よりよい自分に向かって歩み続ける生き方が育つ学び

(こんな自分が) 大好き
～ 自己肯定感を高める ～

教師

- 自ら学び続ける教師
- 子どもへの深い愛情と洞察力をもつ教師
- 教育活動の主体となって活動する教師

- 「自分をしっかり見つめる」「自分をしっかり受け止める」「自分のよさを感じる」ことを大切にする。
- 結果だけに縛られず、プロセスに価値を見いだすようにする
- 建設的な考え方による挑戦や試行錯誤の体験を充実する
- 失敗を恐れない主体的な取り組みを積極的に支援する

●●● 具体的な取組 ●●●

- ・ 縦割り班活動の一層の充実
- ・ 生活・地域・環境等を題材とした実感のある学習の充実
- ・ 体験活動の「ねらい⇒活動⇒評価」のプロセス強化
- ・ 「学びを生かす、働かせる」場や機会の充実
- ・ めざす子どもの姿を柱とした「学級カリキュラム」の作成と運用
- ・ 日常的・専門的な観察や関わりによる丁寧な子ども理解

保護者

- 子どもを指導できる責任ある保護者
- 子どもを受け止め、支えられる保護者
- 子どものよさを目を向け引き出す保護者

さわやかで
元気なあいさつ

小さな社会人
としてのマナー

附属小学
校4つの

目と耳と心で
ききあう

一日一善

附属小学校における教育の基盤

○ 山形大学を核とした連携体制

- ・ 幼・中・特支との連携
- ・ 大学教員の専門的支援
- ・ ALT、SC 等各専門家の配置
- ・ 道徳・環境教育
- ・ 英語教育充実のための教員配置

○ 地域の教育力の積極的な活用

- ・ 保護者会と進める教育活動
- ・ 同窓会による教育的支援
- ・ ボランティアの活用

<附属小だからできる教育>

- ・大学との連携
- ・附特，幼中との実質的な連携
- ・コーディネータ，支援員，SC，ALT，道徳教育推進教師，**環境推進リーダー**の活用
- ・本質を見極め，高い価値をめざす子どもたちとの学校づくり
- ・保護者の教育力を活かした学校づくり
- ・同窓会の支援を活かした活動の展開

<附属小だから必要な教育>

- ・研究の発信・地域への貢献
- ・**質の高い**教育実習による教員の養成
- ・保護者との強い連携の構築
- ・異学年交流の推進
- ・小さな社会人，附小の子どもとしての自覚の育成
- ・将来の山形や日本を担う人材の育成
- ・ふるさとへの思いが高まる教育活動の展開